緑丘新聞

発行所
小樽商科大学緑丘新聞会
小樽市緑町五丁目番外地
TEL 4950
購読料　一年 200円　半年 100円

サークル活動の強化の中心に

＝第一回學生委員会＝

學園の平和、自治の確立等打ち出す

一般行動方針を討議

全学連第四回中央委員会は一月十一日から三日間、飯田市労働会館で開かれた。会議には中央委員二十七名、その他約二百名のオブザーバーが出り、第一日は学生委員会の任務等の全ての面での統一行動の出発点のべた一般報告が行なわれた。第二日は一般報告に続く討論が行なわれた。第三日には、憲法改悪反対闘争、自治庁通達撤回闘争、松川事件、破壊防衛、警職法等の、自治庁通達反対闘争、学園復帰闘争、教育問題等の問題について、今度の中央委員会を通じての統一行動の形態、学園の自治、学生自治会の再開の問題、学生自治会の任務等の全ての面での統一行動の出発点のべた一般報告が行なわれ、第二日は一般報告に続く討論が行なわれた。第三日には、憲法改悪反対闘争、自治庁通達撤回闘争、松川事件、破壊防衛、警職法等の問題について、今度の中央委員会は、学生の自治の問題、学生自治会の再開の問題、学園復帰闘争、教育問題等の問題について、今度の中央委員会を通じての統一行動の形態

座談會　学園生活を語る

編集部では、二月十二日午後一時より先生並びに学生の有志の方にお願いして、学園生活について語る座談会を商大クラブにおいて行った。現在、学園の沈滞化が云々されている時、私達の学園の現状を分析し、その原因の追求、更に学園の復興のための打開策が求められるべきであると考えて行ったものである。以下は当日行われた座談会の要旨である。なお出席者は左の通りである。（編集部）

司会　浜林　正夫
助教授　狐口伸六郎
助教授　川上　久寿
三年　星　一郎
三年　作田　知幸
二年　新水川津一
二年　手塚　博美
二年　志摩栄智子

沈滞の本質を意識せよ
個人の自覚こそ必要

浜林　私が司会を担当されたのですが、始めに問題を皆様から始めたいと思います。この頃はいい悪いは別問題としてもいろいろ言われますが、学園が沈滞しているという点は、皆様のセクト化が問題になると思いますが、というのはある学生だけが熱心を傾倒しているということではなく、学校全体から眺めた時ですが、殊に学生が一般学生と離つた問題を持っているとは思わない。学の学のセクト化ですが、それは学の長い間の伝統、習慣が対外的問題を処理する時、ギャップとして現われてくるのではないか、結局は学生間では伝統を頑んじ下さる。そこで学生部と個人との関係で、どうして個々を超えて学の伝統に調和させて行くかという点で大きな問題がある。下手すると個人を失う事になる。

浜林　花壇ということをよく聞くが学内はどうでしょう。

清水川　委員長としてでなく個人としてですが、聞かに聞かしら学校が面白くない、私はこれは学校が花壇しているというよりも個々人の花壇だと思う。これが学園会の活動や、各サークルの活動が学生みんなのものになる問題ではないか。

星　私も花壇はやはり個々の学生にあると思う。殊に花壇云々することより、花壇を花壇として意識しないことに花壇の本質があるとおもう。こう考えるのは、実は学生一般の雰囲気として花壇にたれきっている。だから私達の段階に参加を手るのは花壇をはつきり意識することだ。

浜林　花壇を具体的にもう少しお聞かせしてみましょう。

作田　学校へ出ておもしろくないという学生でも、中には自分で一年間奮闘している人もいますが、ダンスやマージャン、麻雀などに本腰のはけ口を求めている人も多いようです。

志摩　学園に熱意がないというのでしょうか、マージャンを覚えて、又二部の人から知れませんが学校そのものに学校を離れた人がいるとかに学園を生んでいる原因があるのでないでしょうか。

手塚　麻雀の点に行かぬとも頑張っている人がいないとも云えませんが、マージャンをやって学生としてはいないようだ。

川上　たしかにパチンコに行く学生が目立いますが、だからと言って別に学園にしていると言い切れない。一般的に国でブカレストへ学生が出て送ろうとしたところが、学生が就職に関して幾分出遅れたというて幾つ問題がそのことに関はは出た方が良いという結論になってしまう。

浜林　就職についてはいろいろと問題がでてきたのですが、学生に自分の意見を述べるにも、又行動するのにも積極的でないのはどこに原因があるのでしょうか。

作田　入学当初はみんな何かやろうという意欲に燃えて入学してくる訳ですが、入るなり色々の機会を通じて就職のことをいわれるので、その点に自分でやりたい点がいっぱいあるが、学生部に関する問題がないということ、又二つの問題をうまくこなすのは、学生部の方にあるのではないでしょうか。

手塚　就職に関係する学生部に、就職に関する問題を解決するための特別委員会を設けて、学生部の問題を処理する時、ブカレストへ学生を送ろうとしたところが、学生部の方が良いという結論になったのです。

就職にしばられる學問観
不満のはけ口としての麻雀

浜林　就職についてはいろいろ問題があるが、学生に対して学生部の方が良いという結論になったのです。

志摩　女性の方の就職の問題は問題になっています。中学校生徒は、学生部の方が良いと思います。

編集部　代表者になって学生たち人は出国して帰国する時、ブカレストの模様を学生部に報告するのですが、目立った行動に対する報告しないようです。

浜林　ブカレストへ学生が送る事について学生部の方が考えていたのでしょう。多くの人が協力していたようですが。

手塚　ブカレストの場合、学生でしたら多くの問題をしたのですが、私達としては代表を送るのはよいことだと思うのですが、代表者としての様子をみてきてもらって、出来れば学生部にもっと協力してもらいたいという要望が強かったのです。

編集部　代表者になって学生たち人は出国して帰国する時、ブカレストの模様を学生部に報告するのですが、目立った行動に対する報告しないようです。

星　学生の不満はやはりもっと、就職決定問題が問題だと思う。入ることにかく就職の心配はなくなるとしたことで学生が入学と同時に就職の心配をしなくてもよいのではないでしょうか。

編集部　就職決定問題だけでもうことになっても、その就職のために、は一つの学生の問題があって、その問題に対してはなる様に自己を磨けなければならない。勉強力がなくなってしまうのではないでしょうか。

川上　学部にいるというのは学生生活にあるの学生生活あるんですね。それにこの学校の就職が百パーセントだからというて、悪い学生部助をしないからではなくて学園に良い人がいるからだと思います。今の学生の問題は、就職問題もいつまでも良い状態を続けられないと思います。

浜林　たしかに問題の人が中学に残る可能性はあるかもしれないが、ここにも花壇の一因があるとおもう。

清水川　それに関連した問題は、学生部でクラスを分ければよいと思うのですが、教授の方に対して、中間は問題に少ないので、不いますが。

深刻な社會情勢
すべての學生が悩んでいる

（板口幸信出席）

浜林　学校側に対する批判は大部でましたが、次に学生の側についてはどうでしょう。たしかにサークル活動の少ないのも学園の一因だと思いますが、学で活動会などやっていますか。

手塚　学内では、体育部委会や音楽部の研究委員会、それに学園祭の出演などやっています。

志摩　女子学生が少ないことにあると思うのですが、私達は女子の問題が非常に強くなりがちで、中に学校への行き帰りをくり返してしまう様に成ります。それに学学中に学園外の勉強をやりたいと思っていますが、この方面でも結局されがちです。

板口　皆様にしてはだいぶ良いので良く判らないのですが学生の中に学園外の勉強をやりたいと思う人が前の学校との関係も少ない様だ。その上学生が経済的にたっていることによる安心感からくる勉強力があるとすると心配だが、現在の学生の勉強は学園の力に期待されているとしたら、別の方面に期待を向けるべきではないのか。

浜林　就職が決定されたという前提にあるとすれば、現在の学生は自分で一つの問題が引かれてしまう。結局自己の自由に関係した問題だ。

板口　その問題はどうしてもどうしてもできなくなってその解決迫として学生部の方へ（嘆く様になると思います。

清水川　それに関連した問題は学生部でクラスを分ければよいと思うのですが、教授の方に対して、中間は問題に少ないので、不いますが。

板口　その問題は学生部の方にはマンネリズムの問題があるのではないか。ここにも花壇の一因があるとおもう。

浜林　それに関連した問題は学生部でクラスを分ければよいと思うのですが、教授の方に対して、中間は問題に少ないので、不いますが。

編集部　授業以外のサークル活動の不満点にも原因があると思いますが。

板口　そうですね、皆さんは学生は様々と悩みがいっぱいあるが、一人で悩んでいるのが多い。そういう面でも学生部が解して欲しい。

板口　そうですね、皆さんは学生は様々と悩みがいっぱいあるが、一人で悩んでいるのが多い。そういう面でも学生部が解して欲しい。

作田　学生の活動を考えるには委員会やサークル活動を通じて無感心な学生を引き入れるように手段をはじめるべきではないか。

星　たしかにサークルなどの就職会が必要でしょう。学生自身に対してはそれらのサークルが活動の盛り上りをはかられるべきだ。殊しサークルが学生一般を組織することであってはならない。そうなれば浮き上るのは必然だ。なお委員会は積極的に研究サークルを設置して学生の知ひとり手を貸してあげるべきだ。

編集部　たしか、昨年の委員会で各部の人を集めて話し合った時、委員会を中心に各部の横の連絡を緊密にして各部の活動では前行われていたコイノニアのような会を開き、学生に広く話し合いの場を提供してはという計画が立てられたと思うが、これはよいことだと思う。

浜松　新聞部としてはどのようなことを考えていますか。

編集部　私達としては学生が自由に参加する場を提供する様で、紙面をどんどん解放したいと思っている。女子の内容がいかに効果であるかの声である限りの支たいと思っている。今まで紙面を無論紙を義女を求める紙面があったが、そのようなものを紙面にまかしておけばよいので、学生側としてはもっと紙面を提供するようと考えている。

浜林　たしか、サークル活動でチューターがいないというような様は

手塚　皆なんで委員会を持つときに例えを求めようとやっている。紙面のある時、教授などに

板口　教授がチューターとしてはいろいろ問題がある。

サークル活動の活潑化を
…身近な問題を捕えて…

浜松　いろいろと話題についてはいろいろ問題があるが、学生の問題がでてきたのですがその原因はどこにあるとおもうか。

作田　学生の活動を考えるには自治に対して考える場を提供する様で、紙面をどんどん解放したいと思っている。女子の内容がいかに効果であるかの声である限りの支たいと思っている。今まで紙面を無論紙を義女を求める紙面があったが、そのようなものを紙面にまかしておけばよいので、学生側としてはもっと紙面を提供するようと考えている。

浜林　たしか、サークル活動でチューターがいないというような様は

手塚　皆なんで委員会を持つときに例えを求めようとやっている。紙面のある時、教授などに

板口　教授がチューターとしてはいろいろ問題がある。

星　しかしは学生が学校に何を求めているかについて学生の人々と話合った事があるのか。

作田　その点今までほとんどなかったようだ。今後はどしどし問題を持っていってもらいたい。それに、お話の方法は学生自分でまとめて学校と交渉するようにしたらよいと思う。

浜林　社会の問題として他初に事件をあるのはサークル活動の出発点にあると思います。

板口　しかしは学生が学校に何を求めているかについて学生の人々と話合った事があるのか。

作田　その点今までほとんどなかったようだ。今後はどしどし問題を持っていってもらいたい。それに、お話の方法は学生自分でまとめて学校と交渉するようにしたらよいと思う。

浜林　社会の問題として他初に事件をあるのはサークル活動の出発点にあると思います。

作田　自治、下宿料がどんどん上がっていくが何とか手を打ってもらいたい。

浜林　いろいろと問題がでてきましたが時間も切れましたからこれでおわりにしたいと思います。

編集部　長いとお疲れさまでございました。今後協力して学園生活の向上のため、がんばりたいと思います。では、これで

戦争はもういやだ

第二次世界大戦の終結後、アメリカ人民は世界中に対するアンケートを行ない、「戦争はもういやだ」という結論を得た。

学校にいる間は一生懸命勉強しろ、卒業したら平和運動でもパチンコでもパンパン遊びでもすきなことをやれ」というお年寄りの意見。

「しばらく世間の騒音を離れて研究に専念せよ」と、そこで学問を大学生はしばらく自習を開始した。

たとしよう。会社ではどういう風にそれを受けるか知らないが、おそらく就職として働くことになるだろう。もちろんそれは別問題だが、「はたらかない者は食べるな」というのは、ただ、いずれにしても現代の人間はそれこそ「会社員の第一歩」といわれる。知れない。だがこの考え方には問題がある。

学校にいる間は一生懸命勉強しろ、卒業したら平和運動でもパチンコでもパンパン遊びでもすきなことをやれ」というお年寄りの意見。

「戦争はもういやだ」という結論を得た。

ただし学生ではなくてあるのは、「この学生の数名を見捨てて、平和運動とパチンコとパンパン遊びをすべく専門にもれて大学へ入ったと手る、大学の学生は、ほぼ同じ学生はいないからこんな無責任をはたらいて、思やはり学生の問題をはたらいて、きっとどういうだろう。「しばらく世間の騒音を離れて研究に専念せよ」と、そこで学問を大学生はしばらく自習を開始した。

たとしよう。会社ではどういう風にそれを受けるか知らないが、おそらく就職として働くことになるだろう。もちろんそれは別問題だが、「はたらかない者は食べるな」というのは、ただ、いずれにしても現代の人間はそれこそ「会社員の第一歩」といわれる。知れない。だがこの考え方には問題がある。

遠い平和への道
目前の自由のための抵抗から

「自分を研究することの対象なのである。ここがロータス氏がいう通れ!!

シュムペーターなどはこういう風格的な人間型の増加は、これこそ資本主義の終末を予告するものだ。

資本主義の終末は、社会主義の出現を意味するものだ。

資本主義の出現は、社会主義の出現を意味するものだ。

資本主義の出現は、社会主義の出現を意味するものだ。

資本主義の出現

四年間の學園生活を終えて

「これ上げ」た卒論と「奴隷となつて」の就職

學生を卑屈にしたのは何か

鶴木元司

卒業式がすんでの感想を何でも宜しいから書くようにとの依頼形の方からのすすめにより、これを書こうとはて困いたのが欲のようなものになつた。もとより、勝手かつ、気まぐれなものであり、筆惰であつた二年生の、わが学園時代にあげての反省を書きならべたものである。まず、学園である。勿論、出席がたりなければ、卒業はできない。単位に、まさに学生の死命を制するものである。というと、聞はいささか、大仰に感ずるが、余くのところ、単位こそ、学生の最大関心事である。「学問は、単位というの現実社会において、既成される」というのが、現代の学生の、既成概念である。と考えるならば、過去の出席問題にもとづく報酬なる問題の問題は、単位という力を発揮すべく期待される彼の歴史学が、わづか十数時間の臨時講義の形で二単位と称して切り売りされることが何の不思議でもなくなる。学生は、素分に、歴史的教養を身につけたとの「あかし」として二単位を要求する。従つて、「講義の系統的概説」なる概念と「ウエーバーの学問観」なる解釈の二篇とが伸良く、間のひきだしに収まつていたとしても一向差かしてないし、アダム・スミスと、地本人間が、相応不良もおとこ手に、のみ込まれても不思議ではない。単位すべて単位に換元されるることは、学問の思想をも、ケンツイアが、できることになるとは、何と手ぎきいインテリであることか。彼の頭の中には、うずれかかつたスコラ哲学出現の断片や、哲学思潮を成立史の一環が、既知であつた二単位のカオスをなしている。それらは、試験の度毎に、ぶり出されて、抽き出され、結局卒業式を終えるころには、サンデー毎日の交換者で、オール教物の愛読者たる何物かに変形してしまつているのである。この仕上げは、卒業においてなされる。そのこまぎれの知識の断片を組織するものとし、既成概念を受けるに至つた教授の担当に従つて、既成されるんだテーマを前何ようとの依頼だけ、引用によつて、武装するが前期と考える。かくして、卒業式が前期と考える。かくしてかく教授の頭脳用紙のワクをうめつくした数万字は、これ、ことごとく何らの能で、既得観の学問の形で二単位と称して切り売りされることができるというが、考えれば、結局卒業式の「教養」なる概念は、単位換元的完成度を見事に発揮して非は終るのである。さてこの試験とは、何ぞや、片いうて、既成もどうやら、片がついてくる。三年生の学園から始の試験との長い長い苦難にみちみちたものである。ここでも単位ものをいう。希望する就職先の学校側からの推せんの期待は、既の数の多小による。自分者は、何時きたらでも分はないわけでいる。既ですでに卒業がいち早くうかくして二四〇数単位を獲得することにより、誰くは、ギリシヤの古代哲学より、ヤくは、世間経験哲学のまなかなる学問のこまぎれに感銘し、吹、吹かにわたつてふくれあがつたインテリゲンツイアが、できることになるとは、何と手ぎきいインテリであることか。彼の頭の中には、うずれかかつたスコラ哲学出現の断片や、哲学思潮を成立史の一環が、既知であつた二単位のカオスをなしている。それらは、試験の度毎に、ぶり出されて、抽き出され、結局卒業式を終えるころには、サンデー毎日の交換者で、オール教物の愛読者たる何物かに変形してしまつているのである。この仕上げは、卒業において、なされる。そのこまぎれの知識の断片を組織するものとし、既成概念を受けるに至つた教授の担当に従つて、既成されるんだテーマを前何ようとの依頼だけ、引用によつて、武装するが前期と考える。かくして、卒業式が前期と考える。かくしてかく教授の頭脳用紙のワクをうめつくした数万字は、これ、ことごとく何らの能で、既得観の学問の形で二単位と称して切り売りされることができるというが、考えれば、結局卒業式の「教養」なる概念は、単位換元的完成度を見事に発揮して非は終るのである。さてこの試験とは、何ぞや、片いうて、既成もどうやら、片がついてくる。三年生の学園から始の試験との長い長い苦難にみちみちたものである。ここでも単位ものをいう。希望する就職先の学校側からの推せんの期待は、既の数の多小による。自分者は、何時きたらでも分はないわけでいる。既ですでに卒業がいち早くうかくして二四〇数単位を獲得することにより、誰くは、ギリシヤの古代哲学より、ヤくは、世間経験哲学のまなかなる学問のこまぎれに感銘し、吹、吹かにわたつてふくれあがつたインテリ

コントローウシステムと、緑丘新聞社会学部の学生の、既成概念なる人物の品定めとテクニヤーの問題問題という学問を取り組の四年間の修業の成果ことごとく、四年間の修業の成果ことごとく、仰げて、アジヤーを説明し、空学学者の人物鑑定をしている学は出生なものではないか。無事卒業式にパスして、卒業を受けるときに、学生を品定めし、学生を品定めし、卒業式、携帯制度、平和論等々、今年もこれ程に、論議して、何ともいえない雰囲気の思いが、ふと、ふと、上がつてくる時もあろうということになる。安倍すべきあるいはしる教育、平和問題問題、安倍政策

腰抜けインテリからの脱却とは

祖國の現状の上に立つて ××××新しい學問観の樹立こそ

三つの批判点インテリ過大評價など

三年氏の論旨はつぎの問題点においてわれわれの批判に耐えねばならない。

最初に氏はまずインテリ志望群を「インテリの定義」として、即ちインテリは「頭脳の労働者」であり、インテリの頭脳それ自体が、社会の諸条件に決定的であるとの考えを捨てインテリは、現実の社会を認識し移動し、変革に参加して行動する故である、とされる。しかしこの考え方は正しいであろうか。われわれは、氏がエリート養成として挙げたものがインテリの行動、また現実からの脱却の仕方そのものをも、結局その「弱さ」の点において欠如する結果として、われわれのいうヒューマニズムにゆられたるセンチメンタルなものとして片附けられてしまう危険性を孕む。

どのような点からの、現実からの遊離への強調の仕方にあれ、現実の社会がそれを要請し、又現実に即応するとするならば、とりたてて実践問題を支える理論が三好氏のいう「ヒューマニズム」か、「エゴイズム」かなどという問題はそれ自体実践を喪失するものではあろうか。われわれに中心的な問題は、民衆の貧困、人間の危機として問題される現代社会をいかに乗り越えるか、いかにして民衆の独立と平和を闘い取るかということなのであり、つまり現代社会における真のヒューマニズムをいかにして確立するかという観点からインテリ論を問題とされなければならないはずである。三好氏がそれを論旨の別んだ点を求める実践を支えるものへの選択、つまり三好的ヒューマニズムか、エゴイズムかという問題は問題提起をするものであると解釈することが許されるのであろうか。

即ちわれわれは問題にされたエゴイズムによる「インテリの腰抜け脱却の仕方」に対して、それが結局において社会的なヒューマニズムを問題とせずに抽象されたものといいうること、即ちエゴイズムによる脱却が安易な方法として、ただしばしば行われる方法であるが、しかしそれには重大な矛盾において一つの脱却方法であるものであることを知る以外にそれほどの意味を感じ得ないのである。

腰抜けインテリとは

日本の社会とインテリの弱さ

「インテリの腰抜け」「インテリの弱さ」とはしばしば聞かれるインテリ層に対する批判である。しかしわれわれは三好氏の「腰抜けインテリ」論の問題点を、現実の社会の変革の問題として、即ち日本の社会の構造の問題として、また現実の変革の問題として、即ち日本の社会の構造の問題として、また現実の変革の問題として、即ち日本の社会の構造の問題として、また現実